

6 マリンレスキュー118 発進

第二管区海上保安本部では、マリンレジャー活動が最盛期を迎える夏に、過去の海浜事故の発生傾向を踏まえ、航空機による海水浴場等沿岸部のパトロール「マリンレスキュー118」を実施。7月21日には、釣り人からの118番通報によって、宮城県荒浜沖東方約1000メートルの海上に漂流するサーファー1人をヘリコプターで吊り上げ救助し、マリンレスキュー118第1号の救助となりました。

マリンレスキュー118とは、マリンレジャー活動に伴う事故が発生した場合、「118番」への通報により、パトロール中の航空機等が、素早く現場に駆けつけ、一人でも多くの人命を救助したいとの願いをこめて名付けたものです。



吊上救助中の航空機



航空機内の様子

沖合に流されたサーファーを救助中のくりこま潜水士

7 東北海上保安友の会会員・巡視船・灯台見学会参加募集

東北海上保安友の会会員の皆様に当庁業務を広くご理解いただくため、巡視船や灯台の見学会を平成20年10月19日(日)に計画しております。

当日は午前9時30分仙石線の本塩釜駅集合、チャーターバスにより塩釜港に停泊している宮城海上保安部の巡視船の見学、七ヶ浜町に所在する花洲灯台の見学、多聞山展望台で昼食、同日午後2時頃に本塩釜駅で解散となります。

当日の天候・事案対応等により見学場所等の変更がある場合がありますので予めご了承をお願いいたします。

なお、応募者多数(募集定員40人)の場合は抽選とさせていただきます。

友の会事務局より「東北海上保安友の会会員見学会」のご案内を別途郵送いたしますので、友の会会員の皆様のご参加申し込みをお待ちしております。



通称政宗灯台

宮城海上保安部の巡視船くりこま

東北海上保安友の会

〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1
第二管区海上保安本部
総務部総務課内

電話 022(363)0111(2123)

FAX 022(362)9640

Email: soumu-2@kaiho.mlit.go.jp

愛します! 守ります! 日本の海



海猿になったうーみん&うみまる

ホームページもご覧ください

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/tomonokai/index.html>

1 第二管区海上保安本部 よしこの塩竈おどり参加

平成20年7月21日塩釜商工会議所主催の塩釜港祭りの一環として毎年おこなわれている「よしこの塩竈おどり」に第二管区海上保安本部職員が参加しました。

職員会会長(二本部・河原 功次長)指揮のもと、地域との連携という職員の熱い心意気と、リズム感あふれる踊りで職員が一丸となり、宮城保安部の協力、うみまる・うーみんの応援を得て、70人の踊り手は、笑顔で踊りました。



コンテストの結果は、「技術賞」と市民の皆様から高い評価を得ました。

2 回転翼航空機のお称募集

仙台航空基地に配属される回転翼航空機「ベル式412型」2機のお称を募集! 応募方法は、電子メール又は官製はがきに、「①お称(鳥の名前) ②お称の簡単な由来 ③応募者の住所・氏名・年齢・電話番号・職業」等を記入して

電子メール soumu-2@kaiho.mlit.go.jp ※締切平成20年10月6日(月)

官製はがき 〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1

第二管区海上保安本部 船舶技術部 管理課 あて応募してください。



仙台基地配属予定の同型機 「ベル式412型」

目次:

1 よしこの塩竈おどり参加	1
2 回転翼航空機のお称募集	1
3 海フェスタいわて海保ブース開設	2
4 国土交通Day見学会	3
5 ママは海保のパイロット	3
6 マリンレスキュー118	4
7 海保友の会会員・巡視船・灯台見学会	4



ハイライト:

★お知らせ!! 東北海上保安友の会ホームページを更新しました。

★友の会会員巡視船・灯台見学会参加者募集

★掲示板で情報交換もできます。

★事務局では会員の皆様からのご意見や投稿をお待ちしております。メール・電話・封書のいずれでも結構です。

Email: soumu-2@kaiho.mlit.go.jp



3 海フェスタいわて海の総合展に海保ブースを開設

第二管区海上保安本部では、平成20年7月19日（土）～27日（日）の間、「海フェスタいわて 海の総合展」（大船渡商会議所1階会議室）に海上保安庁ブースを開設、写真パネル展示、広報ビデオ、制服試着記念撮影、各種パンフレット・広報グッズ等を配布して、広く海上保安庁をアピールしました。



「松島みどり国土交通省副大臣」が海保ブースにお見えになりました。当庁潜水士の装備に興味を持たれ、装備の種類や重量・ウェットスーツの素材等色々質問をなされ、海上保安庁の「海の安全・安心」を守る重要性について、ご理解を頂きました。



霧雨の中、大船渡港に入港した「巡視船ざおう」と「日本丸」



親子で海上保安官に変身しました

海保展示ブースに、秋篠宮ご夫妻もお見えになり、紀子さまは海上保安グッズのキッズ手帳をお手に取られご熱心にご覧になっておられました。

また、秋篠宮さまは大船渡付近の新旧海図に興味を持たれご熱心にご覧になっておられました。



僕は将来海上保安官になります



4 国土交通Day「仙台航空基地・宮城分校」見学

平成20年8月7日（木）国土交通省の業務紹介の一環として、仙台近郊の国土交通省関連施設の見学会が開催され、一般公募による地元小学生30人が「第二管区海上保安本部仙台航空基地・海上保安学校宮城分校」を見学、航空機に直接触れるなどして親子で夏休みの楽しい一時を満喫しました。



仙台航空基地格納庫で記念撮影



吊上用器材の取扱を説明する仙台基地降下員



宮城分校工作室で、研修生から板金工程の説明を受ける子供たち

5 ママは海保のパイロット



離陸する回転翼航空機

5月25日の「海上保安の日」に仙台航空基地上空を展示飛行中の灘波機長

第二管区海上保安本部仙台航空基地に、東北の海を空から見守る海上保安庁唯一の女性機長であり、一児のママである「灘波陽子」さんが勤務しています。

なお、先日、「厳しい海上保安業務と育児・家庭を両立させて、日夜東北の海を空から監視をしている」という灘波機長の記事が新聞に掲載されました。



宮城県荒浜沖海上を監視飛行中の灘波機長